第　1 版：1999 年　7 月　1 日
第 14 版：2023 年　3 月 22 日

製品安全データシート

１．製品及び会社情報

製品名	ポリオキシン AL 水溶剤「科研」
製品ｺｰﾄﾞ	GAL
会社名	科研製薬株式会社
住所	東京都文京区本駒込 2 丁目 28 番 8 号
電話番号	03-5977-5035
ＦＡＸ番号	03-5977-5136
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	ag_rd@kaken.co.jp

２．危険有害性の要約

GHS 分類

【物理化学的危険性】

火薬類	区分に該当しない	自然発火性液体	区分に該当しない
可燃性／引火性ガス	区分に該当しない	自然発火性固体	区分に該当しない
可燃性／引火性エアゾール	区分に該当しない	自己発熱性化学品	区分に該当しない
支燃性／酸化性ガス類	区分に該当しない	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない	酸化性液体	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない	酸化性固体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない	有機過酸化物	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない	金属腐食性物質	区分に該当しない

【健康に対する有害性】

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分２
特定標的臓器毒性・全身毒性（単回暴露）	分類できない
特定標的臓器毒性・全身毒性（反復暴露）	区分２
吸引性呼吸器有害性	分類できない

【環境に対する有害性】

水生環境有害性　短期（急性）	区分２
水生環境有害性　長期（慢性）	区分に該当しない

第 1 版：1999 年 7 月 1 日
第 14 版：2023 年 3 月 22 日

GHS ラベル要素
【絵表示又はシンボル】



【注意喚起語】 警告
【危険有害性情報】
・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
・長期にわたる反復暴露による肝臓、心血管系の障害のおそれ
・水生生物に毒性
【注意書き】
[安全対策]
・使用前に製品ラベルの注意事項をよく読み使用すること。
・眼に対してわずかな刺激性があるので眼に入らないように注意する。使用後は洗眼する。
・散布液や残液が直接排水溝、河川、湖沼、養魚池に流れ込まないように対処する。
・花き･作物の殺菌殺ダニ剤の目的のみに使用する。
・取扱いは保護具を着用すること。
・使用後は手や顔を良く洗うこと。
[保管]
・直射日光を避け、冷暗所に密閉して保管する。
[廃棄]
・内容物または容器を廃棄する場合は、該当法規に従い都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品･混合物の区別　混合物
一般名　ポリオキシン水溶剤

成分	含有量 %	化学式	CAS 番号	官報公示整理番号 化審法　安衛法	PRTR 法
ポリオキシン複合体	50.0	$C_{17}H_{25}N_5O_{13}$	19396-06-6		
ポリ（オキシエチレン）＝アルキルフェニルエーテル（アルキル基の炭素数が 9 のものに限る。）	5.0	$(C_2H_4O)_nC_{15}H_{24}O$	9016-45-9	(7)-172	第 1 種 410
界面活性剤等	45.0				

4．応急措置

吸入した場合　：被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移動し、衣服を緩めて深呼吸させる。多量に吸入した場合には医療措置を受ける。
皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水またはぬるま湯で十分洗い流し、石けんを使って洗浄する。

第 1 版：1999 年 7 月 1 日
第 14 版：2023 年 3 月 22 日

眼に入った場合　：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。
飲み込んだ場合　：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし、被災者に意識のない場合は、ものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5．火災時の措置

消火剤　：水、強化液、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器。
特定の消火方法：初期の火災には、水、粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。
大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
消火を行う者の保護：
燃焼または高温により有毒ガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項：
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
環境に対する注意事項：
流出した多量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
除去方法　：飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策：取り扱う前には必ずラベルをよく読む。
取扱いは換気のよい場所で行い、粉塵、ガスのこもりやすい場所では取り扱わない。
漏れ、あふれ、飛散が無いようにし、みだりに粉塵、蒸気を発生させない。
通常の取扱い方法では危険性は低いが、誤飲・誤食などのないように注意する。
本剤取り扱い中に身体の異常を感じた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。
取扱いの際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
取扱い後は手足・顔などを石けんでよく洗い、洗眼し、うがいをする。
散布液や残液はなるべく使い切り、河川、湖沼、養魚池などに捨てない。
保管
適切な保管条件：
直射日光をさけ、低温で乾燥した場所に密封して保管する。
異種物質の混入をさけ、火気、熱源から隔離する。

8．暴露防止及び保護措置

設備対策　：作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行うことが望ましい。
管理濃度　：設定されていない。
許容濃度　：日本産業衛生学会及び ACGIH のいずれも設定されていない。
保護具
呼吸用保護具：防塵マスク
手の保護具　：保護手袋（不浸透性手袋、ゴム手袋）
眼の保護具　：保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具：作業衣、帽子、保護服

第 1 版：1999 年 7 月 1 日
第 14 版：2023 年 3 月 22 日

９．物理的及び化学的性質

物理状態　：水溶性細粒
色　　：淡褐色

１０．安定性及び反応性

安定性：常温・常圧で安定

１１．有害性情報

急性毒性：	経口　ラット(♂♀) LD_{50}	＞5,000mg/kg	［区分に該当しない］
	経皮　ラット(♂♀) LD_{50}	＞2,000mg/kg	［区分に該当しない］
皮膚刺激性：	ウサギ	非常にわずかな刺激性	［区分に該当しない］
眼刺激性：	ウサギ	わずかな刺激性	［区分に該当しない］
皮膚感作性：	モルモット	感作性なし	［区分に該当しない］

１２．環境影響情報

水生環境有害性　短期（急性）　オオミジンコのデータに基づき区分２とした。
水生環境有害性　長期（慢性）　原体の Log Pow=－1.21（23℃、pH3.6）より区分に該当しないとした。

魚毒性　：	コイ	LC_{50}	96h	＞100mg/L
	オオミジンコ	EC_{50}	48h	1.80mg /L
	藻類	ErC_{50}	24-72h	＞1,000mg/L

１３．廃棄上の注意

製品はなるべく使い切り、空袋は圃場などに放置せず、水産動植物に影響の無いよう適切に処理する。やむをえず廃棄する場合は、保健衛生上危害を生じるおそれが無い場所（都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者）で、少量ずつ燃焼させる。

１４．輸送上の注意

国内法規制：特段の規制は無い。
国連分類：国連勧告の定義上危険物に該当しない。
注意事項：取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。破袋の無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。水濡れに注意する。

１５．適用法令

農薬取締法　登録番号：第１５１７６号
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：ポリ（オキシエチレン）＝アルキルフェニルエーテル（アルキル基の炭素数が 9 のものに限る。）（管理番号：第 1 種 410）

１６．その他の情報

版番号：第 14 版
参考文献：

１）GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（JIS Z 7253:2019）　日本規格協会（令和元年 5 月 25 日改正）
２）GHS に基づく化学品の分類方法(JIS Z 7252:2019)日本規格協会(令和元年 5 月 25 日改正)
３）ラベル・製品安全データシート作成実務必携 GHS 対応国内版（2007 年 6 月　化学工業日報社）

第　1 版：1999 年　7 月　1 日
第 14 版：2023 年　3 月 22 日

４）［改訂第 3 版］緊急時応急措置指針（2009 年 9 月（社）日本化学工業協会）
５）農薬中毒の症状と治療法（1998 年 4 月　農林水産省農産園芸局）
６）化学物質排出把握管理促進法の政令改正について（令和 3 年 10 月 20 日公布）　経済産業省ホームページ　https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/prtr/8_4.html

本製品安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

緊急連絡先：03-5977-5035
公益財団法人　日本中毒情報センター　（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）
中毒１１０番　一般市民専用電話　（大　阪）072-727-2499（情報料無料）
365 日 24 時間対応
（つくば）029-852-9999（情報料無料）
365 日 9～21 時対応
医療機関専用有料電話　（大　阪）072-726-9923（１件 2,000 円）
365 日 24 時間対応
（つくば）029-851-9999（１件 2,000 円）
365 日 9～21 時対応
医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料１件につき 2,000 円を徴収します。